

# 医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行  
発行人 清水 正 人

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内  
電話 (0857) 27-5566

●清水委員長挨拶 (要旨)  
本日の主な議事は、令和5年度事業報告及び収支決算

概要は次のとおり。  
執行委員会の主な議事の  
算の承認、日医連執行委員



清水 委員長

鳥取県医師連盟は7月25日、鳥取県医師会館において執行委員会を開催し、新たな委員長に清水正人鳥取県医師会長を選出した。議事として、令和5年度事業報告、収支決算を承認したほか、4月21日、東京で開催された「日本医師連盟医政活動研究会」の伝達を行った。  
また、令和7年7月に行われる予定の第27回参議院選挙比例区(全国区)にかまやちさとし先生(日本医師会副会長)の推薦を決定した。

『新委員長に清水正人  
鳥取県医師会長を選出』  
『かまやちさとし先生(日本医師会副会長)の推薦を決定』  
執行委員会

会並びに医政活動研究会の出席報告等である。2日前に日医連執行委員会が開催された。その席でも「かまやちさとし」先生は正式に組織内候補として決定しているが、自民党に逆風が吹いている。武見敬三先生の2期目が大変な逆風なのか、18万票獲得しても次点であった。自民党が多数当選しないと20万票獲得しても危ないかもしれないのが現状である。松本日医連会長からも、最低30万票の獲得を目標にしたいとのことであった。今後は、来年7月の参議院選挙に向けて、自民党に逆風が吹いている限りは、組織力を挙げて頑張っていかなければいけないと自覚している。先生方もよろしく願います。

●議事  
○役員人事  
今般、鳥取県医師会並びに地区医師会において役員改選が行われたことから、本連盟の役員人事について別表のとおり決定した。また、入江宏一先生、長田昭夫先生、魚谷純先生、渡辺憲先生(いずれも委員長経験者)、藤井一博先生(参議院議員)を顧問として委嘱することとした。



会場

○日本医師連盟執行委員の推薦

本連盟から2名選出することから、清水委員長、瀬川副委員長を推薦した。

○令和5年度事業報告

令和5年度の主な事業報告について瀬川副委員長から説明がなされた。詳細については別記のとおり。



瀬川 副委員長

○令和5年度収支決算承認  
令和5年度収支決算では、会計責任者の秋藤委員から説明がなされ、宮崎前会計監督者から適正である旨の監査報告があり、賛成

多数で決算が承認された。詳細は別記のとおり。



会計報告  
秋藤 先生



監査報告  
宮崎 先生

○令和6年度地区連絡費

令和6年度の地区連絡費は、令和5年度と同様に負担金納入額の20%を交付することと決定した。

○自民党員の拡張

日本医師連盟から昨年度に続き自民党員の拡張について要請文が届いた。日本医師連盟は、去る5月28日

鳥取県医師連盟役員・執行委員等名簿

[敬称略]  
令和6年7月25日決定

役職名	氏 名		
委員長	清水 正人		
副委員長	瀬川 謙一		
常任執行委員	辻田 哲朗	石谷 暢男	
	安梅 正則	藤瀬 雅史	
執行委員 (東部8名)	岡田 克夫	秋藤 洋一	
	尾崎 眞人	藤田 須賀	
	池田 光輔	松田 隆一	
執行委員 (中部6名)	後藤 大太郎	野口 圭二	
	明島 亮二	三上 眞顯	
執行委員 (西部10名)	山崎 大輔	長田 郁夫	
	安達 敏明	越智 寛	
	業務委員 (会計責任者)	秋藤 洋一	
	業務委員 (会計責任者職務代行者)	岡田 克夫	
業務委員 (会計監督者)	尾崎 眞人	服岡 泰司	
顧問	入江 宏一	長田 昭夫	
	魚谷 純博	藤井 一博	

に開催された「自民党各種団体協議会懇談会」において党員数拡張の功績が認められ、党員増加数、増加率の2つの部門においてダブル受賞を果たした。現在、本連盟では258名が入党している。対応としては、まず鳥取県医師会及び地区医師会の役員、職員に入党を要請する書面を送付する。更に新規開業の先生方に入党のお願い文書を送付する。入党にあたっては、活動の義務は一切なく、また党費について先生方の負担を求めない。多数の入党をお願いする。



会場

# 令和5年度鳥取県医師連盟の事業概要

自 令和5年4月1日  
至 令和6年7月25日現在

[敬称略]

## 1. 鳥取県医師連盟関係

### ■執行委員会

#### <第1回>

日時 令和5年7月27日  
場所 ホテルニューオータニ鳥取  
議事 ①令和4年度事業報告について  
②令和4年度収支決算承認について  
③令和5年度地区連絡費について  
④日本医師連盟医政活動研究会伝達  
⑤国会報告（石破 茂代議士、藤井一博  
参議院議員）

### ■常任執行委員会（拡大：理事会後）

#### <第1回>

日時 令和5年5月18日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①令和5年度負担金の徴収について  
②日本医師連盟医政活動研究会について  
③医師連盟執行委員会の開催について  
④赤澤りょうせい君を励ます会について

#### <第2回>

日時 令和5年7月20日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①自民党員の拡張について  
②医師連盟執行委員会、国会報告会の運営について

#### <第3回>

日時 令和5年8月24日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①自民党員の獲得状況について  
②第27回参議院比例代表選挙における候補者公募スケジュールについて

#### <第4回>

日時 令和5年10月19日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①自民党員の獲得結果について（258名）  
②日医連執行委員会の出席報告  
③「秋の経済対策、診療報酬改定に向け

てのお願いの件

#### <第5回>

日時 令和6年1月11日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①第27回参議院議員比例代表選挙における日医連推薦候補者について  
（鳥取県医師連盟としてかまやち さとし先生を推薦することに決定）

#### <第6回>

日時 令和6年2月15日  
場所 鳥取県医師会館  
議事 ①日本医師連盟執行委員会の出席報告  
②第27回参議院議員比例代表選挙における日本医師連盟推薦候補者の決定について（かまやち さとし先生に決定）  
③第27回参議院議員比例代表選挙における候補者の推薦について（かまやち さとし先生を推薦することを決定）

## 2. 日本医師連盟関係

### ■日医連執行委員会

#### <第1回>

日時 令和5年10月17日  
場所 日本医師会館  
出席者 渡辺委員長、事務局随員：岡本、谷口  
講演 ①「医政活動の重要性」日本医師連盟  
松本吉郎委員長  
②「社会保障を知る・考える」田村憲久  
衆議院議員（元厚生労働大臣）  
都道府県医師連盟からの活動報告：福岡  
県、群馬県、熊本県、鹿児島県、東京都  
意見交換

#### <第2回>

日時 令和6年1月30日  
場所 日本医師会館  
出席者 渡辺委員長、事務局随員：岡本、谷口  
議事 ①令和4年度日本医師連盟収支決算報告  
（承認）

- ②令和 6 年度日本医師連盟の負担金基準額（A 1 会員 2 万円）
- ③次期参議院議員選挙（かまやち さとし先生を組織内候補とすることに決定）
- 新年会 例年は、新年祝賀会を開催していたが、1 月 1 日発生した能登半島地震の被害に鑑み、国会議員への案内を取りやめ、名称を「災害対策支援の会」とされた。

#### ■日医連医政活動研究会

- 日 時 令和 5 年 5 月 28 日
- 場 所 サピアタワー（東京駅）
- 出席者 渡辺委員長、小林副委員長、事務局随員：岡本、谷口
- 講 演 ①「医政活動の重要性」日本医師連盟 松本吉郎委員長
- ②「社会保障を知る・考える」田村憲久衆議院議員（元厚生労働大臣）
- 都道府県医師連盟からの活動報告：福岡県、群馬県、熊本県、鹿児島県、東京都意見交換

#### ■日医連自民党員獲得説明会

（中国四国ブロック会議）

- 日 時 令和 5 年 8 月 7 日
- 場 所 w e b 会議
- 出席者 岡本局長、谷口参与、高岸主任、鈴木主事
- 議 事 ①党員獲得、過去から現状（1 割増の獲得、10 月に獲得状況調査予定）
- ②意見交換、質疑

#### ■自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」

- 日 時 令和 5 年 12 月 5 日
- 場 所 参議院議員会館 講堂
- 出席者 渡辺委員長、事務局随員：岡本
- ※鳥取県選出の自民党国会議員 5 名に出席要請を行った。
- 議 事 「診療報酬改定に向けて」

### 3. 選挙関係

#### ■鳥取県知事選挙（令和 5 年 4 月 9 日投票）

投票率 48.85%（敬称略）

平井伸治（現職）	200,442	当選（5 期目） 県医推薦
福住英行	17,822	日本共産党 鳥取県常任委員

#### 4. 参議院選挙対策

※特記事項なし

#### 5. その他

- 広報活動としてリーフレット「医師連盟 TOTTORI」の発行  
1 回（第 42 号：令和 5 年 8 月 25 日）発行した。
- 「骨太の方針 2023」集約にあたって国会議員への働きかけ  
日医連から令和 5 年 5 月 25 日付け、都道府県医師連盟あてに「骨太の方針 2023」集約にあたって自民党政調全体会議が開催（5 月 26 日、29 日）されるので、地元選出の自民党国会議員への働きかけをお願いしたいとの要請があった。5 人の国会議員へ書面（F A X）、電話で要請した。
- 自民党員の拡張について  
年末の予算編成に向けて自民党員の獲得の要請が日医連からあり、8 月 2 日、未入党の開業医会員あて入党の要請を行うとともに、各地区医師連盟役員、事務局職員の入党の要請を行った。新規獲得 52 名（医師 27 名、事務局職員 25 名）、既入党者と合わせて医師連盟支部の党員は 258 名となった。内訳は前年 215 名、死亡 9 名、新規 52 名。
- 秋の経済対策、診療報酬改定に向けて  
秋の経済対策、年末の予算編成に向けて令和 5 年 10 月、日医、日医連から地元選出の国会議員へ働きかけをするよう要請があり、説明資料を送付するとともに、渡辺委員長が直接国会議員へ架電し、理解いただくとともに支援の要請をおこなった。
- 自民党政調全体会議  
令和 6 年度予算編成にむけて令和 5 年 12 月 1 日に開催された。開催にあたり日医連からの要請に基づき、鳥取県選出の 5 人の国会議員へ会議の出席と診療報酬改定に関する発言をしていただくよう 11 月 27 日付けで要請の書面を送付した。

[以上]

この中で  
鳥取県医師  
連盟からは、  
清水委員長  
が常任執行  
委員に、渡  
辺顧問が会  
計監督者に  
就任した。



日本医師連盟は7月9日、日本医師会館において執行委員会を開催し、委員長に松本吉郎日本医師会長を選出したほか、役員人事を決定した。

『清水正人委員長が常任執行委員に、渡辺憲顧問が会計監督者に就任』  
日医連執行委員会

優れた医療・介護をすべての人へ、次世代へ。

伝える。届ける。

日本医師会 副会長・医師・日本医師連盟推薦

**かまやちさとし**

優れた医療・介護をすべての人へ、次世代へ。

伝える。届ける。

かまやちさとし わたしの思い

「未来に」伝える。届ける。  
国民皆保険制度による日本の優れた医療・介護体制を堅持します。小児科医の経験を活かし、子どもたちの笑顔を作ります。すべての人に明るい未来を目指します。

「国民に」伝える。届ける。  
感染症等の有事にも、平時の医療体制を提供します。予防できる病気を防ぐため、希望する人へのワクチン接種を推進します。すべての人が健やかに過ごせるよう、健康増進に努めます。

「地域に」伝える。届ける。  
医療・介護の従事者を確保し地域医療を充実させます。高齢化率の高い地域でも患者さんを支えます。災害に強い街づくりを推進します。

「行政に」伝える。届ける。  
地域保健・公衆衛生活動を充実させます。日本医師会が目指すかかりつけ医機能を推進します。地域の実情に応じた医療現場の声を行政に伝えます。

日本医師会 副会長  
かまやちさとし 医師 敬

プロフィール  
医師/医学博士/日本小児科学会/  
日本小児科協会/日本小児科医学会 会員  
職歴: 行政課長(上州高崎で勤務 2001年より)  
茶道

1953年 7月5日 群馬県高崎市生まれ 巳年、かに歳  
1972年 東京教育大学附属 駒場高校(教員)  
昭和大学附属駒場高校 卒業  
1978年 日本医科大学医学部卒業  
1978年 日本医科大学付属第一病院 小児科 入局  
1988年 小児小児科医局 院長  
2005年 高崎市医師会 会長  
2011年 群馬県医師会 参与  
2014年 日本医師会 現任理事  
2020年 新型コロナウイルス感染症対策専門委員会 議事録作成  
新型コロナウイルスアドバイザー ボード 構成員  
2023年 新型コロナ感染症対策推進会議 委員  
2024年 日本医師会 副会長

日本医師連盟 〒113-8621 東京都文京区本郷2丁目28番16号

## 日本医師連盟 医政活動研究会

4月21日、東京で開催され、清水委員長、渡辺顧問

が出席した。清水委員長から会議報告書、日医連ニュースをもとに説明、伝達を行った。当日は、茂松茂人日医連副委員長の司会で開会。松本吉郎委員長、羽生田俊参議院議員、自見はなこ参議院議員から挨拶があった後、講演3題、意見交換、須藤英仁副委員長の掛声の下「ガンバローコール」が行われた。

### 1 挨拶(要旨)

#### ○日医連 松本吉郎委員長

本日は日曜日にも関わらず、多数参加を賜り感謝申し上げます。本日の議論を必ず地元へ持ち帰り、各都道府県内で情報の共有等を図るようお願いする。

まず、1月1日夕刻に発生した能登半島地震において、犠牲になられた方々に

謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様へお見舞い申し上げます。また、愛媛県を中心に4月17日深夜に発生した地震で被災された方々にも併せてお見舞い申し上げます。

経済財政諮問会議の中でいわゆる「骨太の方針2024」の策定は、各省庁の利害を超えて官邸主導で改革を進めるための基本方針が決定される大変重要なものである。自民党国會議員と良好な関係を築いていたが、日本医師会の主張を会議等の場でしっかりと発言していただきたい。

昨年、自民党の医療会支部党員数の拡張をお願いしたところ、各都道府県に多大なる協力をいただき、新規に2千名を超える支部党員が加入する結果となった。改めて御礼申し上げますとともに、全国一丸となった更なる医政活動の展開について取組むため、より一層の力添えをくださるようお願いする。

#### ○羽生田俊参議院議員

まず、政治資金問題に関し、皆様方に自由民主党として大変なご迷惑とご心配をお掛けしたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

本日は私と同じ群馬県出身である釜范敏先生のご支援を賜ることをお願いする。釜范先生は、国會議員の中に高校時代の同窓生が多くおり、これから非常に頼りになる存在である。私の任期は、来年の7月までではあるが、今後、皆様には釜范敏先生を覚えていただきたい。

#### ○自見はなこ参議院議員

日頃より大変お世話になっていて全国各地からお越しの皆様は本会でお目にかかれたことを嬉しく思う。昨年の9月13日に内閣府特命担当大臣を拝命したが、非常に多岐に渡る事業を担当している。その中で、石破しげる大臣が初代担当を務めた「地方創生」においては、医師会の先生方に

親和性の強い予算を持つている。必要・要望に応じて活用していただきたい。これらの活動において最も重要なのが、安心して医療・介護・福祉が受けられる地域の構築であるため、引き続き取組んでいきたい。

本日は釜范敏先生の決意表明の場であり、私どもも全力で応援する。

### 2 講演

#### (1)「医系議員の医政活動について」

##### 古川俊治参議院議員

本日は地方議員として17年間過ごしてきた中で、どのような活動をすべきかを私の経験を踏まえた上で皆様にお話しさせていたたく。医療系議員の中でも与党議員としての役割は、第一に職域団体を代表して意見表明することである。現場の制度運用と問題点に精通していることが期待されるため、選挙区選出の医系議員と連携することが重要である。しかし、自身の職域の利権のみを主張するだ

けでは味方を得ることができず、全体の方針や党としての考え方において整合性を持ちながら、個別の修正をしていくべきである。選挙区選出の医系議員としては都道府県医師会の先生方との連携を密にしているため、政策範囲が広く味方を増やしやすい。一方で、経験や立場、地域の差により必ずしも職域団体とは意見が合わない場合もある。職域選出議員、選挙区選出議員のそれぞれの長所を連携してうまく活用していくことが重要である。医系議員に必要な資質として、データや数的根拠に基づいた説得力のある主張が行えるか、国民全体の医療に必要という観点から発言をしていくことが非常に重要である。

社会保障費の財源に関する議論の過程において、改定率が決定となる予算編成の時期には、医系議員から地域の議員に対し働きかけを行うことが大きな役割であり、重要である。

(2) 「医政活動の重要性  
—医療政策実現のため—」

釜范敏常任執行委員

平成26年に日本医師会の常任理事として就任してから医師連盟の担当も行ってきた。さまざまな経験をすること、日本医師会及び日本医師連盟の医政活動の重要性を強く感じ、この度の決心に繋がった。

診療報酬の改定における医師連盟の活動がいかに重要であったかを振り返ると松本会長のリーダーシップの下、各地域代表の国会議員が力強い発言をしたことで診療報酬の改定が上乘せされた結果に繋がった。各地域の国会議員が果たした役割が非常に大きかったことが言える。そして、この連携の中で生まれた力を結集していくには、日本医師連盟の組織内候補が日頃から多くの国会議員の信頼を得て、人間関係を構築し、意思疎通を図りながら活動を行うことが重要であると感ずる。

医療を取り巻く諸問題は数多くあり、医療現場の意見を伝えていくことが重要である。より良い医療の実現のためには、国政に意見を反映させるべく、組織力の強化が必須である。多くの医師の参画を経て、医師会が医師の意見を反映する組織となることを目指していく。組織率を高めていくことにより、医師会・医師連盟の要望活動が医師全体の要望であると受けとめられる。先生方においては引き続きご協力をお願いする。



(3) 「政治活動と選挙運動」

橋爪雄彦弁護士

選挙違反になるかどうかの判断において、選挙運動であるか一般の政治活動かの仕分けがきちんと整理できていることが重要である。選挙運動とは「特定の選挙」において、「特定の候補者等」のために、当選依頼をなすことという要件が揃っている場合を指す。

選挙期間外はいわゆる一般の政治活動ができる。本会のような研究会や広報活動等の連盟活動、もうひとつは後援会活動である。また、候補者の周知を図るにあたり、投票者に顔と名前を覚えてもらうことが重要であるが、名前を書いてもらうことに特化してしまう。このような場合に選挙活動違反が起きてしまう事例が多くあるため注意が必要である。

インターネットでの選挙運動では、電子メールを使用した呼びかけ等ができるのは政党および候補者のみ

である。選挙運動用の電子メールを送信するためには、受信許可の意思確認が必要であるが、選挙運動が始まると、この意思確認をすることができないため現在の選挙期間外中に準備すべきである。先生方においては今後の選挙運動を明るく一生懸命行い、気を付けるべきことに注意しながら選挙活動に徹していただきたい。

3 意見交換

・ SNS を利用した選挙活動として、メッセージを送ったところ警察から連絡があり、ポスターの掲示について警告された事例があった。このような場合には、日本医師連盟に報告していただきたい。検討した上で、正しい選挙活動の方法についてお伝えできると考える。

・ 各都道府県で講演等依頼をする際に年間スケジュールを早めに作成していただきたい。

・ 放射線技師連盟や臨床検



査技師連盟等、他の医療関係団体と連携すべきである。

・ SNS の中でも特にLINE のメッセージを活用することで、多くの方から喜びの言葉を聞くことができ、身近に感じてもらえた事例があるため、ぜひ活用していただきたい。

・ 職員に投票証明書を取るよう依頼したことがあり、非常に有効であったため、各地区で進めていくべきである。

## 令和 5 年度鳥取県医師連盟収支決算報告書

## 【収入の部】

(単位：円)

款	項	収入額	摘 要
1. 会 費 (37.41%)		10,932,500	
	1. 会 費	10,932,500	
	2. 特 別 会 費	0	
2. 寄 付 金 (7.29%)		2,130,000	交付金 2,130,000円 (日医連負担金の30%バック)
	1. 日医連寄付金	2,130,000	
3. その他の収入 (0.00%)		153	普通預金利息
	1. 雑 入	153	
4. 繰 越 金 (55.30%)		16,159,659	前年度繰越金
	1. 繰 越 金	16,159,659	
収 入 合 計		29,222,312	

## 【支出の部】

(単位：円)

款	項	支出額	摘 要
1. 事 務 費 (0.90%)		101,055	消耗品、口座振込手数料、送料他
	1. 一 般 事 務 費	101,055	
2. 組 織 活 動 費 (10.04%)		1,125,118	国民政治協会費 医師連盟TOTTORI発行費 (1回)
	1. 旅 費	358,820	
	2. 会 議 費	277,478	
	3. 懇 談 会 費	246,000	
	4. 負 担 金	60,000	
	5. 広 報 費	182,820	
3. 選 挙 関 係 費 (0.00%)		0	
	1. 寄 付 金	0	
4. 寄 付 交 付 金 (89.06%)		9,985,410	@20,000円×355人 令和5年度地区連絡費 @2,700円×258人
	1. 日医連負担金	7,100,000	
	2. 地区連絡費	2,188,810	
	3. 支部交付金	696,600	
5. その他の経費 (0%)		0	
	1. 予 備 費	0	
支 出 合 計		11,211,583	

収支差引残額 18,011,729円 は令和6年度へ繰越